



市内の気になる話題をご紹介します。

11/1

紅葉の中 快走 「ひだ金山清流マラソン」

第40回～ギフチョウの里～ひだ金山清流マラソンが、金山リバーサイドスポーツセンターを発着点に開催されました。市内の小・中学生や家族連れのほか、県内外から480人のランナーが参加。コースはハーフ、クォーター、ミニマラソン(4.2キロ)、ミニハーフマラソン(2.1キロ)の4種類があり、参加者は思い思いのペースで、紅葉が見頃となった馬瀬川沿いを駆け抜けました。



スタートの合図に合わせて勢いよく走り出す参加者
＝金山町金山、金山リバーサイドスポーツセンター

11/8

馬瀬の郷から元気発信！ 秋のふるさと・あったか祭

馬瀬地域の活性化を目的に、南飛騨馬瀬川観光協会主催による「2015秋のふるさと・あったか祭り」がフィッシングセンター水辺の館周辺で開催されました。多くの来場者は、たくさんのイベントやバザーを満喫。1チーム10人で跳んだ回数を競う大縄跳び大会では、あいにくの雨の中、9チームが優勝争いを繰り広げ、会場を盛り上げていました。



9チームが参加した大縄跳び大会で、見事1位となった「馬瀬中剣道部」＝馬瀬西村、フィッシングセンター水辺の館

11/2.3

地元役者に拍手喝采 「白雲座歌舞伎定期公演」

門和佐の芝居小屋「白雲座」で、白雲座歌舞伎保存会による地歌舞伎定期公演が行われました。

白雲座の舞台には、国の重要文化財に指定されたコマ回し方式の「回り舞台」が備えられ、芝居を引き立てています。2日間の公演で、「絵本太功記十段目尼ヶ崎閑居の場」など4外題に保存会の会員と地元小・中学生が熱演。観客席からは大きな拍手が送られました。



「絵本太功記十段目尼ヶ崎閑居の場」で場面転換のため回
転しはじめた“回り舞台”＝門和佐、白雲座

11/10

「火の用心！」 保育園児ら防火パレード

「秋の全国火災予防運動」の啓発と防火意識の向上を図るため、金山保育園の年長園児48人が、金山町内を行進しました。園児たちは、法被を着て、まといや拍子木を手に金山保育園を元気に出発。町内の人たちが見守るなか、先導車から流れる「戸締り用心、火の用心！」の音楽に合わせ、大きな声で火災予防を呼びかけました。



「まとい」や「拍子木」を手にし、元気に行進する園児たち
＝金山町大船渡